

(1)

その時、何歳？

16、17、18歳で輝いた人

十六歲

編集（金子真由美・小野香保里）

エシフトの古文字を解説
シャンポリオン

図書館だより

九里学園高等学校
図書委員会
印刷(株)川島印刷
TEL 21-5511(代)

十七歲

木下庵と
建て直し

彼は、九州の高鍋藩の藩主の次男に生まれた。すぐれた才能を發揮されて十歳で上杉家の養子にな

A boy with dark hair and a girl with glasses are looking up at a large speech bubble. The bubble contains the Japanese text "めざせ 優人!" (Mezasese Yūjin!), which translates to "Strive for Excellence!" or "Aiming for the Best!"

十八歲

一六三四年、島原・天草地方に凶作が続々、飢饉にみまわれた。農民たちは追いつめられてい

徳川幕府が傾きかけ、天皇を中心とした明治時代が始まる直前の時に、江戸時代の江戸川時代のはじめに生まれた島原に生まねる父は、キリシタン草四郎を指揮する。

べく彼が二十六歳の時、開
館といふ藩校をつくった。

その大きな歴史の流れをうまく運ぶために和宮は、十四代将軍徳川家茂と無理やり結婚させられる。結婚した時、和宮は十七歳であった。

金田正一（プロ野球投手）
大記録を残した天才左腕投手。高校を十六歳で中退してプロに入団。二年目の十八歳で、二十勝をあげた。

図書にある「年齢事典」という本から、アートを得て、有名な私達の年齢の時、何をしていましたか？

年齢の時、どういう
じをしていったか見てみたい
と思い、興味のある人を深
く調べ特集しました。

黒川満智子（マンガ家）
一九六四年、十六歳で「ビ
アの肖像」でデビュー。たち
まち全国の少女の心をとらえ
た。その頃、マンガは悪書と
いうレッテルが貼られてい
た。「このままではマ
ンガは滅びてし
まう、マンガの

味方になろう」と思つたのがきつかけだつた。
平敦盛(平家の武将)
一一八四年、源義経が平家と一の谷で戦つた時、敦盛は十六歳で、熊谷直実に討たれた。直実は心を痛め、人生の無常を感じ出家した。

— 7 —

図書館だより

2003. 2. 24

(2)



三校合同百人一首を楽しむ会

先輩たちは 遊びの楽しさを発見している

2002. 12. 14

1 - 4 原 祥江

九里・米商・米工の三校合
同「百人一首を楽しむ会」が
十二月十四日(土)に九里学
園を行われました。三
校合わせて約五十名が参加し
ました。私は授業で二・三回
したことがありましたが、実
際にやってみると、覚えてい
る札でも思うように取れない
ことが多くありました。覚え
ることと取る技術は別もの
ようです。

この会で、米商の方が読み
手をしたのですが、かなりう
まいと思いました。米商には
百人一首クラブがあり、読み
手の方はそのクラブ員でした。
ゲームも決まり字すぐバン
ツバシッと取っていました。

ゲームは一試合ごとに人が
交代わり、いろんな人と対戦す
ることができました。米商も九
里も九里も、それぞれ楽し
んでいたのでよかったです。

さすがに二・三年生
は、自分の覚えている生
得意札はかなり速く、
驚きました。考えてみ
れば、放課後、毎日の
ように楽しみながらし
ている三年生をよく見
かけました。そういう
先輩たちを見ていると、
遊びの楽しさを発見し

ます。この「百人一首
を楽しむ会」は三
十年以上も前から
あつたそうです。
私も先輩達みたい
に早くとれるよう
になりたいと思い
ます。

百人一首 クラスマッチ

わずか三枚差

2003. 1. 20. 21

2 - 4 石山 雅智

勝ち抜いて、ついに決勝に
居た。そしてトーナメント表
の頂点に二年四組という文字
が燐然と輝いた。

思えば、長いようで、短い
練習期間だったような気がす
る。その期間の中で、どれく
らい回数を積み重ねただろう
か。最初は、なかなか人が集
まらず、いつやるのか。と内
心やきもきした。人数が集ま
つていざやると、自分自身、
なかなか札が取れない。先行
き不安。そう思つた。

そんな不安を抱えながら、
私達は戦いに臨んだのである。
一回戦一首目、正直驚いた。
「有明のく」という札。私の得
意札である。すっと手を延ば
し、取つた。この時、私の中
の不安はきれいさっぱり氷解



した。目の前の札を見つめ、
小さく笑つた。
熾烈を極めた二回戦、そし
て三回戦四回戦と勝ち進み、
ついに、三年四組と対決する
ことになった。三年四組は強
豪だ。」という噂は、決して嘘
ではなかつた。一首目を取ら
れ、二首、三首と取られた。
この時初めて、私は焦燥にか
られた。

私が確実に取れる札は三首。
「有明のく」、「天つ風のく」、「花さ
そうのく」いずれも最初の五文
字で取れる札である。幸い二
首目、三首目は近くにあつた
ので、取る自信があつたが、
一首目は、遠い場所にあつた。
劣勢であつた私達だが、退く
という事はなかつた。

そして無我夢中で手をのば
し続け、強豪三年四組を相手
に、私達は優勝という栄光を
手にした。白熱の中思つた。
高みへと登る支えは仲間だよ
わすか三枚差。ただただ楽し
かつた。

| | |
|-----|------|
| 優勝 | 2年4組 |
| 準優勝 | 3年4組 |
| 第3位 | 2年5組 |
| 第4位 | 3年1組 |



| 1位 | 二の四 情野 香 | 111冊 | |
|-----|-----------|------|--|
| 2位 | 三の四 赤木 裕子 | 86冊 | |
| 3位 | 二の四 石山 稔智 | 70冊 | |
| 4位 | 三の四 佐藤真由美 | 56冊 | |
| 5位 | 一の八 島貴 誠子 | 41冊 | |
| 5位 | 二の四 斎藤美由希 | 41冊 | |
| 5位 | 三の一 庄司 裕貴 | 41冊 | |
| 8位 | 三の四 石井亜沙美 | 38冊 | |
| 8位 | 三の六 竹内 瞳 | 38冊 | |
| 10位 | 三の三 金子真由美 | 36冊 | |

(H14.4~H15.1)
ベスト10

図書館 貸し出し ベスト10

不幸すぎる
「小公女」の運命に
泣いた

小さい頃、私は本を読まない子供でした。そんな私を本好きにしたのは、昔から人々に愛されているあの名作、パーソネットの「小公女」。当時、私は彼女の不幸すぎるこの物語に幾度ハラハラしたり、泣いたかわかりません。しかし主人公セーラーは、逆境に負けず、心に誇りややさしさを持ち続け、この苦しい生活で得たものを、自分が成長する為の踏み台にしようといふるまえるでしょうか？私は幼いながらもセーラーの必死に生きる姿に感動しました。この後からは、様々な本を読みあさるようになつたのです。気になったタイトルの本はジャンルを問わず読み、気に入った本は何度も何度も読み返しました。そうし

て私は本を読む楽しさに取り憑かれていったのです。

本は読む人に必ず何かを教えてくれます。それ

をどういう風に解釈するかは

人それぞれです。様々な角度

から物事を見れる事になれば、自分の人間性を深められ

ると思ります。

最近読みごたえのあったものは「TUGUMI」と「青空のむこう」です。つぐみの小悪魔的性格と、がむしゃらに生にしがみつく姿。「青空のむこう」では、交通事故で死んだ少年が幽靈となつて自分が死んだ現実を受け入れてゆく姿。どちらも人間の強さが感じられる作品です。

これからは歴史小説とノン

フィクションが読みたいで

す。

2-4 情野 香

私の好きな 主人公



「たいのおかしら」「もものかんづめ」の主人公ももこ

三一四 佐藤 真由美

私の心をとらえて離れない主人公がいる。それは「さくらももこ」だ。アニメの「ちびまるこちゃん」の作者でもある。彼女の書くエッセイは、とにかく面白く、思わず一人笑いをしてしまう。

昆虫好きで、様々な生物を飼育した話、とんでもない乙女心について、バイトでの試食魔との戦いなど種類はさまざま。彼女のエッセイは、鍵付き日記をこつそり覗いている気分にさせる。インチキ手品師の道具に引っかかり、何度も苦い思いをする。しかし考えがボジティブで、少しでも嬉しい事があつたら吹き飛ばせてしまう。私にもこんな考えが心の片隅にあるのなら、今何倍も生きるパワーが溢れ出ると思う。私は悩んでいる時期に、幾度となく元気づけてもらつた。

「笑う」ということは単純であるが、人間から笑顔が消えたら植物だと思う。さくら族には馬鹿にされ、姉は冷酷極まりない態度。運悪く、体育の時間はダンスで裸足にならなくてはいけない。そこで足に包帯をぐるぐる巻きにし隠したのである。

でもこの思考の豊かさは、私いつも「笑い」という爽快な風を送り込んでくれる。

図書館だより

2003.2.24

(4)

活動をふりかえって

一つでも
欠けてはいけない

パズルのピース

三一四

石井亜沙美

*

二〇〇一年、十二月図書委員会にミラクルが起こりました。

員会の中で一、二を争うほどの大ボケと呼ばれている自分が委員長になつてしまつたのです。樂観的に見ても、来年度の図書委員会は絶対にマズい。この未曾有の危機を前にして、私の頭は真っ白になつっていました。

しかし、私のその考えは全くの見当違いであつたことを思つたのは、実際に活動を始めた春頃からです。私が懸念していたことが起ることもありませんでした。この事実は何を示すかというと、単純な話、図書委員の人は、「いい人」だつたんだと思います。普段の仕事も、忙しい行事も、一人一人が自分の特性や趣味を生かし、一生懸命に取り組んできました。大きい

行事では、やはり九里祭が印象に残ります。製作した絵本は絵を書く技術と、文章力が合わさり初めて出来るものです。展示物は、字の上手い人が大活躍。立体展示は力仕事で、設計力が必要でした。衣装係は、趣味が炸裂といった感じでした。

日本はみんな貧しかつたので国語と百科事典を兼ねたようなこの辞典の出現は大変な魅力として受け入れられていました。作家や文章のプロの人達は、生活のために家財道具を売り払つても「広辞苑」だけは手放さなかつたというエピソードがある。

現在、「広辞苑」は第五版。二十三万語を収める国語辞典として大きな存在価値を示している。

(編集 大久保)

名著の伝記 (一)

「広辞苑」はよ国語辞典だよの巻



著者の新村は、一晩泣き明かしたそうだ。新村出という人が執筆し昭和十年に出版された。反響は大きく、加筆修正版を出すことになる。しかし、時は第二次大戦直前で、執筆者は戦争に招集され、印刷所が空襲にあいすべてが焼失してしまうのだ。ここで辞典の命は終わりだった。社会全体が大変革、文字も当用漢字や新仮名遣いになつたので、辞典は全面修正、題字も「廣辭苑」から「広辞苑」になり、

苦難を乗り越えて昭和三十年、ようやく第一版が出るのである。日本はみんな貧しかつたので国語と百科事典を兼ねたようなこの辞典の出現は大変な魅力として受け入れられていました。作家や文章のプロの人達は、生活のために家財道具を売り払つても「広辞苑」だけは手放さなかつたというエピソードがある。

社会全体が大変革、文字も当用漢字や新仮名遣いになつたので、

読書、そういうえばこの頃、ゆっくりと本を読む機会が、めっきり減つてしまつたなど

思います。一時期は本当にたくさんの本を読んでいました。

ただ、読書といつても、單に文庫本などだけではなく、あらゆる物を読むことに夢中になつていて、なにか活字に飢えているような感じでもあります。TVやインターネットなどのメディアが、現代では当たり前の世の中になつていますが、なにかそういう

ことのできる、心のゆとりを持つて日々を送つていきた

読書の楽しみ



根津利栄 先生

今年の委員会は一人一人が欠かすことのできない特技が支えになつてきました。パズルのピースは一つでも欠けては完成しない。そんなイメージです。そういう今年の委員会を今、心底から誇りに思います。

編集後記

今回は、3年生から引きついで初めての編集でした。

第一面は、過去の偉人についての知識を深めつつまとめました。大変でしたが私達にとってはとてもおもしろい企画でした。どうか読んで下さい。

す。しかし、活字を読むことは、自分なりの解釈で想像力を働かせながら、作品や情報の中に自分の身を置くことができるところに魅力を感じます。また、活字では小説、コラム、エッセイと何でもそうがなぜそのように書いたのであります。すると、著者の気持ちを推察しながら読むことのできることが、私の読書の楽しみ方の一つです。始めに申しますが、最近は読書を楽しむ時間もあり無いのですが、なるべく本を開いていこうと思っています。と同時に読書を楽しむことのできる、心のゆとりを持つて日々を送つていきた